

茨城の教育

茨城県高等学校教職員組合
310-0853 茨城県水戸市平須町表原1-9-3
telephone 029-305-3075
facsimile 029-305-3317
www.mito.ne.jp/~iba-kou/

所定労働時間15分短縮 地域手当は3%に

2009年度賃金確定等に関する地公労交渉結果

所定労働時間短縮(7時間45分)
地域手当支給率アップ(3%)
子の看護休暇拡充(2人以上10日間)

茨高教組・県職員組合・自治労県本部・茨教組でつくる茨城県地方公務員労働組合共闘会議(地公労)は、11月16日に県当局との第3回交渉を行い、23時56分に妥結した。妥結結果は右記のとおり。

10月24日に出された県人事委員会勧告は、経済危機下での民間給与の情勢を反映したものとはいえ、月例給・一時金ともに減額という極めて不満の残るものであった。

茨城県地方公務員労働組合共闘会議(地公労=茨高教組、県職員組合、自治労県本部、茨教組の4団体で組織)は、本県地方公務員の生活と権利を守るため、県当局(上月総務部長他)との間で3度の交渉をおこなったが、11月16日、下記のとおり の回答を受け、賃金・手当等に関しては減額勧告をうけ入れる内容で妥結し、2009年度賃金等に関する交渉を終了した。

◎月例給……▼0.2%(2009年12月1日)

※4月にさかのぼって12月ボーナスから減じる。

◎一時金……▼0.35月(2009年12月1日)

※0.2月分は6月で減額済み。
12月支給2.35→2.20月

◎自宅に係る住居手当……▼500円(2009年12月1日)
4000円→3500円

◎地域手当(2010年4月)
2.8%→3.0%にアップ

◎子の看護休暇(2010年4月1日)
「中学就学の始期に達するまでの子を複数養育する場合」6日→10日

◎職員の勤務時間(2010年4月1日)
8時間→7時間45分
※「運用にあたっては、任命権者別に協議を行う。」

◎義務教育等教員特別手当(2010年1月1日)
3.0%→2.2%(▼0.8%)

※例えば、2級100号の人は、12,600円→9,300円にと、月

3,300円の減額になる。

◎給料の調整額(2010年1月1日)……障害児学校の教職員に支給されている。

調整数……▼0.5(教諭等1.5、管理職0.5)

※技能労務職員、栄養職員は経過措置として、2011年3月まで調整数0.25が支給される。

◎定時制通信制、産業手当(2010年4月1日)
当局の見直し対案(5/10)をはねかえした。
10/100→▼8/100

◎学校職員手当→廃止(2010年4月1日)
「通信教育非本務職員が行う通信教育の添削指導」等

◎漁ろう作業手当→据置
※「手当の在り方については、今後任命権者別に引き続き協議を行う」

◎短期家族介護休暇
国が新設(法整備)すればそれに準じて実施。
※人事院勧告(1人5日、2人以上10日)

09 教育のつどいいばらき

テーマ「ひらこう“授業”つながろう教職員」

期日：2010年2月6日(土)～7日(日)

場所：笠間市 ホテル山の荘

全体講演：井沼淳一郎氏「若者の貧困と学校教育(仮題)」

分科会：授業づくり、HRづくり、特活を柱に行います。

各職場から実践を持ちよう。

必修〈道德〉は生徒の道德性の発達をうながすか？(第23回)

八紘一字は人種平等の理念だと主張する「日本会議」

「六千人の命のビザ」——杉原千畝評価におけるナショナリズムとシオニズム(8)

§4

八紘一字と人種差別(つづき)

閣議決定における「八紘一字」

ナチス・ドイツの迫害を逃れたユダヤ人6000人に対して、外交官杉原千畝が日本通過ビザを発給したのは、大日本帝国の「国是」たる「八紘一字」精神に基づくものだというのが、「日本会議」の主張である。しかも、「八紘一字」は大日本帝国によるアジア・太平洋地域侵略のスローガンだったのではなく、欧米の白人国家による植民地支配からアジア・太平洋地域を解放しよ

うとする、「人種平等」の崇高な理念だったという。この驚くべき主張について検討しよう。

次は、1940(昭和15)年7月26日、第2次近衛内閣の閣議決定「基本国策要綱」冒頭の「根本方針」である。大日本帝国の方針として「八紘一字」の語が登場する最初の例である。「皇国の国是は、八紘を一字とする肇国の大精神に基き、世界平和の確立を招来することを以て根本とし、先づ皇国を核心とし、日満支の強固なる結合を根幹とする大東亜の新秩序を建設するに在り。」

「八紘一字」という建国の精神に基づいて世界平和を確立する

ことを「根本」とし、この「根本」の上に、最初に大日本帝国を「核心」として、日本・満州・中国を強固に「結合」し、次にこれを「根幹」とする東アジアの新しい「秩序」をたてる。これが大日本帝国の国家としての方針(「国是」)だということだ。

「基本国策要綱」における「八紘一字」は、近衛文麿ら閣議出席者のオリジナルではない。宗教団体「国柱会」の創始者田中智學(1861-1939)が、日蓮を中心とするひとつの家(「宇」として世界(「八紘」)を統一するという意味の標語「八紘一字」を作って使用していたのを、借用したとされる。

日蓮宗においては、末法段階

にある現世においては、穏やかに相手を導く「授受」ではなく、相手を徹底的に論破して教化する「折伏」をおこなうべきとされる。田中智學は「折伏」の対象に他宗派の信者だけでなく、天皇に対して不忠である者をも含める。田中智學は、大日本帝国憲法第 28 条（「日本臣民ハ安寧秩序ヲ妨ケス及臣民タルノ義務ニ背カサル限ニ於テ信教ノ自由ヲ有ス」）を改正して日蓮仏教を国教にし、「国立戒壇」を設置することをめざす。さらに「折伏」は、人間だけでなく国家もその対象とされ、他国をその宗教とともに否定することが宗教的義務とされる。田中智學は、『日本書紀』における「六合を兼ねて都を開き、八紘を掩ひて宇にせむこと、亦可からずや」との神武天皇のこゝばから四字熟語「八紘一宇」をつくった。これは法華経における「一天四海回帰妙法」と同じ意味をあらわすのだという。

田中智學の「国柱会」の信者として、高山樗牛、石原莞爾、宮沢賢治らがいた。石原莞爾（1889-1949）は、「満州事変」の発端となった満鉄爆破事件（柳条湖事件）の中心人物である（当時、陸軍中佐で関東軍参謀）。宮沢賢治（1896-1933）については、「国柱会」会員であったことはあまり言及されない。『銀河鉄道の夜』などから受ける表面的な印象のせいで、なんとなくキリスト教的思想をもっていたと思われたりもするが、24 歳で入信し熱心に活動した「国柱会」信者だった。なお、宮沢賢治の作品は、必修〈道徳〉の生徒用テキスト『ともに歩む』に収録されている（教材 35「稲作挿話」）。以上、田中智學と国柱会については、伊勢弘志「大正期の思想潮流についての一考察」[https://

m-repo.lib.meiji.ac.jp/dspace/bitstream/10291/6104/1/sundaishigaku_131_1.pdf]、大谷栄一「戦前期日本の日蓮仏教にみる戦争観」[http://mitizane.ll.chiba-u.jp/metadb/up/ReCPAcoe/otani31.pdf]

『日本書紀』における「八紘一宇」

「八紘一宇」の典拠とされる『日本書紀』によると、現在の宮崎県あたりにいた彦火火出見（後の神武天皇、当時 45 歳）が、「東の方によい土地がある。それがきっとこの国の中心だろう」と言って、東方遠征に乗り出した。それから 6 年め、東方遠征の困難な事業をひととおり済ました彦火火出見は言った（『日本古典文学大系 67 日本書紀 上』1967 年、岩波書店、212 頁）。「六合を兼ねて都を開き、八紘を掩ひて宇にせむこと、亦可からずや。」

現代語に翻訳すると（宇治谷孟訳『日本書紀（上）全現代語訳』1988 年、講談社学術文庫、107-08 頁）、

「国中を一つにして都を開き、天の下を掩いて一つの家にすることは、また良いことではないか。」

その翌々年、彦火火出見は現在の奈良県橿原市で即位した。これが万世一系の皇統の初代に位置する神武天皇であり、この年が皇紀元年である。大日本帝国は皇紀元年は西暦紀元前 660 年に当たると算定した。そして、1940（昭和 15）年には、「紀元二千六百年」の祝賀式典が全国で挙行され、全国民が祝った。

彦火火出見（神武天皇）がひとつの家のように統合しようと宣言した「八紘」は、意味上は地上世界のかかなり広い範囲を意味するが、せいぜい日本列島の一部地域に限られる。いっぽう、

1940（昭和 15）年の閣議決定「基本国策要綱」における「八紘」は、意味上は地上世界のかかなり広い範囲を意味するが、地球上の全人類世界を想定しているわけではない。直後に「世界平和」とあり、その「世界」は地球上の全人類世界を指すのだろうが、その「世界」についてはせいぜい「平和」な状態にしようという程度である。まさかそれを「一宇」として今上天皇（昭和天皇）のもとに統一してしまおうと想定しているわけではない。範囲を明確化するとしたら、「八紘」は、「大東亜」すなわち東アジア・東南アジア地域を指すのだろう。

このように、神武天皇時代の皇紀紀元前 2 年（西暦紀元前 662 年）と、昭和天皇時代の皇紀 2600 年（西暦 1940 年、昭和 15 年）とでは、「八紘」という語が想定する空間的限界に関して、大きな不一致がある。ひとつの「家」にするとやっているその「家」の規模からして全く違うのだ。当然、「八紘」の中身、さらに「八紘一宇」の意味するところは同一ではありえず、大きく異ならざるをえない。

大日本帝国は、皇紀紀元前 2 年の時点で神武天皇が「八紘をひとつの家のように統一しよう!」と言ったその言葉を、皇紀 2600 年になって何かのスローガンに使うというのだが、中身が違いすぎる。四字熟語「八紘一宇」の意味するものは、皇紀紀元前 2 年と皇紀 2600 年とはまったくことなる。したがって、「八紘一宇」というスローガンそれ自体に、ひとつの明確な理念が表現されているとは到底言えない。

「八紘一宇」の内実

「日本会議」の上杉千年は「八紘一宇」の意味を次のように説

明する（上杉千年『猶太難民と八紘一宇』2002 年、展転社、22-23 頁）。

- (1)「一人の統治者のもとに世界の隅々までも統合すること」を意味する。
- (2)「世界をひとつの家族とすること」を意味する。
- (3)「八紘一宇」を翻訳すると「世界同胞主義ユニバーサル・ブラザフッド」である。

このうち、(2)「世界をひとつの家族とすること」は、まさに字義通りであるが、説明としては十分ではない。「家族」といってもそれがどういう家族を意味するのか明らかでないからだ。家族の意味内容の差異に依拠して、「一宇」の意味するものも当然異ならざるをえないだろう。このように「家族」の意味が曖昧なままでは、「八紘一宇」の具体的意味内容をとらえることはできない。

しかし、「世界」全部がひとつの「家族」になるというのであるから、そこに何らかの思想が前提されているといえる。どのような思想か？ ヒンドゥー教や仏教には「世界」がひとつの「家族」だという発想はない。ユダヤ教・キリスト教・イスラムにも、そのような発想はない。プラトンにも、ホッブズにも、ヘーゲルにも、そのような発想はない。

「世界」全部がひとつの「家族」になるという発想は、儒教思想のものだろう。しかし、1940（昭和 15）年当時の大日本帝国におけるこのような発想は、もちろん中国における儒教それ自体ではなく、国家神道と結びついた日本独特の儒教的道徳である。その意味では、「八紘一宇」は特定の思想体系を前提にしており、その思想を指し示しているとよい。

「ひとつの家族」といっても、もちろん現代社会における勤労者の家族のようなものを指し示しているわけではない。「一人の統治者のもとに世界の隅々までも統合すること」(上杉の説明 (1)) というように、この「家族」には「家長」が支配者として君臨している。法社会学者の川島武宜（1909-92）は、大日本帝国における儒教的忠孝の教説の特徴を、つぎのように説明している（川島武宜『イデオロギーとしての家族制度』1957 年、岩波書店、42-43 頁）。

「親の『身分』が尊貴なものであり（身分の隔絶）、したがって子は親に対し、最大の敬意（恭順）を払い、また親の命令に絶対服従すべき義務をおう、という教説。」

「親子の関係を天皇と国民との関係に類推して天皇の『親心』を強調すること。」

「天皇と人民との関係を本家分家の同族集団の関係だとする擬制をとおして、『国民の宗家』たる天皇への忠誠義務を強調する論理。」

この「家族」には、「一人の統治者のもとに」「隅々までも統合」されている「世界」の姿があらはじめ組み込まれているのであり、だからこそ、その形姿を「世界」に投影し、「一人の統治者のもとに世界の隅々までも統合」された、「家族」のような「世界」をイメージすることができるのである。

しかし、「一人の統治者のもとに」「統合」されている「家族」のような「世界」を、四字熟語「八紘一宇」が、単独で一義的に意味するわけではない。四字熟語「八紘一宇」それ自体は、思想そのものの、あるいは思想の要約などではなく、特定の思想を指し示すタグ（tag つけ札）のよう

なものである。

「世界同胞主義ユニバーサル・ブラザフッド」(上杉の説明 (3)) は、「八紘一宇」の説明とみなすことはできない。「同胞」には「一人の統治者のもとに」「統合」された状態という意味はない。「八紘一宇」の訳としてはとんでもない誤訳であり、大日本帝国の行為を免罪するために戦後になってから考えだした見え透いたすり替えにすぎない。

「日本会議」は、「八紘一宇」は侵略のスローガンではなく、人種差別廃止の崇高な理念だと強弁する。国粋主義者の主張は威勢が良く、人を驚かせるような内容だが、その立証がきわめて弱体である。肝心のところで決め手に欠け、論旨が支離滅裂になる。議論をたどっていても、なるほどそうだと思わせる説得力がない。

結局、どうがんばってみても、「八紘一宇」という四字熟語からひとつの思想体系を読み取るのは無理である。「八紘一宇」は、「昭和」だとか、「平成」だとかと同様に漢籍を典拠とする造語である。たしかに漢字はたんに音を表すだけではなく意味をも表す。漢字一文字だけでも何らかの意味は表わすから、それが 2 つなり 4 つなり結合すれば、それ相応の意味を指し示しもする。しかし、四字熟語ひとつに、ひとまとまりの精神的諸原理を内包させるのは不可能だろう。2 バイト文字わずか 4 個から思想体系を抽出しようとしたり、読解したりしようとしても、いかにせん情報量が少なすぎるのだ。あらかじめなんらかの思想を含ませておいて、しかるのちにそこから都合良く何らかの「思想」を読解してみせる「日本会議」の論理は、我田引水、牽強付会にすぎない。

(つづく)